

令和5年度 第1回 森町総合教育会議会議録

日 時：令和5年7月28日（金）10：30～

場 所：森町福祉センター（森町公民館） 1階 大会議室

出席委員：毛利教育長・三輪委員・長瀬委員・吉川委員

出席者：岡嶋町長

坂田学校教育課長

藤嶋学校教育課参事

名生学校教育課参事

須藤社会教育課長(兼)森町公民館長(兼)図書館長

木村体育課長(兼)体育館長(兼)青少年会館長(兼)生涯学習課長

石岡森町学校給食センター長

西川学校教育課総務係長

石井学校教育課総務係主事

署名委員：三輪委員・長瀬委員

議 題：(1) ICT教育の取組みについて

(岡嶋町長)

それでは令和5年度第1回森町総合教育会議を始めたいと思います。開会にあたりまして、私から一言発言させていただきます。改めまして、教育委員の皆様、お疲れ様でございます。お忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございます。日中猛暑の中、体調を崩されないよう皆様生活されているのかと思います。庁舎においても高温多湿な場所が多くですね、職員の皆さんも非常に汗をかきながら仕事をされているかと思っております。本日議題にあげさせていただいております、「ICT教育の取組みについて」後ほど少し私の方から経過と今後の課題などについて説明させていただきたいと思います。昨今様々な課題・問題がありましたけれども、学校の統廃合の問題等々も地域のご理解・ご協力をいただきまして、一通り方向性を出すことが出来ました。そんな中ですね、将来に渡ってこの森町の小学校、中学校、幼稚園、保育園、様々な子供子育ての環境を通じて、まだまだこれからも改善していかなければならない点、そして新たに作らなければならない仕組み等々もあるかと思っております。その中でも本日は教育委員の皆様にお集まりいただきましたので、会終了までに様々なご意見・ご質問等々も忌憚無きものをいただければと思ってお催させていただきました。改めまして本日本当に様々なご意見を皆様から頂きまして、今後の教育行政に生かしていきたいので、どうぞよろしく願いいたします。本日一日どうぞよろしく願いいたします。

引き続きまして早速議題の方に移っていきたく思います。その前に、会議録署名委員の指名を私からさせていただきたいと思います。本日の会議録署名委員に三輪委員と長瀬委員を指名させていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

お手元の資料の「ICT教育のこれまでの取組みと今後の課題」という資料に基づいて説明させていただきます。資料左側の欄で「今までの取組み」、右側に「課題」ということで整理させていただいておりますので、説明させていただきます。ご質問等は一通り説明が終わりましたらお願いしたいと思っておりますので、その際に発言いただければと思います。

まず取組み「1人1台端末の整備」国の推進するGIGAスクール構想に対応するため、町内小中学校全児童・生徒分のiPadを令和2年に整備させていただきました。この間課題として、バッテリーの劣化など定期的な更新が必要で財政的な負担があるということで、これは今後も引き続き起きうる課題ではございますが、町長部局と教育委員会と財政的な面に関しましては、引き続きしっかりと措置していきたいというところであります。

続きまして、「教員向けの研修実施」というところで、iPadの基本的な操作や授業での活用方法について、教員向け研修を実施してまいりました。この点についての課題として、iPadを使っていない自治体から異動してきた場合などの操作に不慣れな教員もいることから習熟度の平準化を図っていく必要があると考えております。この点に関しましても、中々町の職員だけでは人員等も限られておりますので、こういった点もしっかりと協力体制を構築しながら不足の無いよう努めていければと考えているところでございます。

続きまして、「児童・生徒向けの情報モラル教育実施」というところでございます。チャットツール等を用いたいじめが森町だけでなく全国で社会問題となっていることから、情報モラルガイドブックの作成、講演会の開催を行って来ました。課題として、今後も情報に触れる機会が子供たちに増えていくことから、継続してこのモラル教育を実施していく必要があるというところで整理をしております。この情報モラル教育に関しましても、単なるモラル教育だけではなく、デジタルシティズンシップというものも提唱されている中で、これは教育長にも話しておりますけれども、外部の団体・人員等、森町に親交がある方がたくさんいますので、そういった面もしっかり活用させていただきながら当然予算措置もさせていただきながら不足なくより深みのあるモラル教育、デジタルシティズンシップ教育に取り組んでいければと考えております。

最後に「ICT支援員の配置」というところで、学校現場でのiPadの活用に関してICT支援員を配置してサポート業務を実施してまいりました。課題として国の方針では4校に1人ICT支援員を配置することとなっておりますが、町内では7校に1人の支援員というところでございます。これに関しましても、先ほどデジタルシティズンシップ教育の関係で教員向けの研修実施で触れたんですけれども、外部の人員・新たな仕組みづくりをしっかりと町長部局も連携して作っていきたいと考えております。現実問題として現在基準は4校に1人であることに對し森町では7校に1人とそういったところで当然不足しているという状況ではございますので、この辺も新年度に向けてしっかりと充足していかなければと考えておりますので、その辺もしっかりと町長部局として対応していきたいと考えております。当初うちの総務課、当時の情報管理係に1人凄く長けた人間がいたんですけれども、彼は退職してしましまして、しかしながら町内でそういった彼の人脈を活かしながら起業し

で町内に残っております。そういった人脈を活用させていただきながら反映していきたいと思っております。以上簡単ではございますが4点私の方から挙げさせていただきました。ご質問・ご意見等あればお願いしたいのですが、いかがでしょうか。非常に簡単な説明ではありましたが、ICT教育と言いながら結局それを活用して何をどうするかというところが拡がってくるのかと思っております。iPadを使うのが目的ではなく、それを手段として今後教育の中に先生も生徒も地域も含めて新たな教育のあるべき姿を作っていかなければならないと。その中ではまだまだ過程の段階であるのかなと思っておりますので、この辺は学校ごとの温度差というか差も確かにあるのが現実ではありますので、今後も引き続き学校同士の情報共有も含めましてしっかりとやっていかなければならないと捉えております。いかがでしょうか。ちなみに教育委員さんの方で学校現場を見に行くということはあるんですか。

(毛利教育長)

そういう機会は年に1回は確実に設けて、授業の様子を観られる状態にはしてあります。コロナ禍の影響もあることから中々じっくりということが出来ていなかったもので、今年また計画する時に各学校でもICTを使っている様子をご覧いただけるかと思っております。状況としては森町のICTに関しての整備の仕方というのは非常に進んでいる自治体です。ちょっと注目されるくらい進んでいる自治体です。そういう意味ではそれに応えて先ほど町長からあったように色々な工夫がされている学校と、ちょっと進み方がもう少しかなという学校ときっとご覧いただければ分かると思うんですけども、単に提示するだけとか、そういうところから子供の考えを皆で共有してみたりコミュニケーションの意味合いが強くなってきていまして、そのことによって学びを深めたいという狙いに向かっているわけです。今年もご覧いただける機会があります。

(岡嶋町長)

ぜひ私も一緒に。

(三輪委員)

そうですね、一度町長も一緒に同行して観ていただいた方が良いと思います。時間があれば。

(岡嶋町長)

時間は作ります。

(毛利教育長)

今私から答えるわけではありませんけれども、調整して出来ればそこで総合教育会議と抱き合わせのような形で町長、教育委員一緒に学校視察に行ければと。有益なことだと思っ

ます。

(岡嶋町長)

PTA の方ではやっているんですかね。

(毛利教育長)

学校訪問というか、PTA の方は学校授業参観という形が多くて。年3回くらいですね。

(長瀬委員)

それは他の学校のにも行くんですか。

(毛利教育長)

それは無いですね。

(長瀬委員)

そうですね、やっぱり他の学校には行かないですね。自分の(子供が)所属している学校だけですね。

(毛利教育長)

そうですね。

(岡嶋町長)

それはどうなのでしょう。他の学校を PTA も観るとするのは有益なのでしょう。

(毛利教育長)

PTA 連合会のような形を形成しているので、連合会の研修として回るということになれば、可能かもしれませんが、こちらで決めて「こうします。」というよりは要望の声がもし挙がれば、検討することは出来るかと思います。

(岡嶋町長)

学校が主導して学校の方は段取りをしているのでしょうか。

(毛利教育長)

学校とそこに属する者の保護者は連携は十分していると思います。

(岡嶋町長)

ひとまずちょっと教育委員の学校訪問に関してはそのように進めていきたいと思います。

(毛利教育長)

そういう形で現実に行われていることを観たいというところで。

(岡嶋町長)

そうですね、よろしく願いいたします。

それでは特に他によろしいでしょうか。

(三輪委員)

要望というか、ICT 支援員の配置というのがありましたよね。出来れば外部を含めて充足していきたいというのはぜひやっていただきたいと思います。やっぱり本当に森町は先ほど教育長がおっしゃっていましたが、凄くレベルが高いんですよね。先生方も一生懸命勉強していただき、子供たちに共有して、授業で使っているところが多いんですけど、でもやっぱりさっきおっしゃったように転属してきてというところの不足もありますので、そういう先生方に少し力を貸してあげられるような部分で協力していただければ。学校自体もそうですし、先生自体もやる気が出てくるという部分で、力が入るのではないかと思いますので、そこはよろしく願いいたします。(訪問した際) 結構楽しそうにやっていたよ。

(毛利教育長)

楽しそうとかびっくりするような使い方をしていきますよね、子供たち。私たちの想像を超えていますね。

(吉川委員)

一つ良いですか。iPad を使っている自治体と使っていない自治体の割合はどのようなものなのでしょうか。

(毛利教育長)

数については分かっていますよね。函館市を除くと10の自治体が渡島管内にあって、4つがiPad、4つがChromeBook、2つがWindows。

(吉川委員)

ICTについてはどこの自治体も取り組んでいるということですね。

(毛利教育長)

端末自体はどこ自治体も入っています。

(吉川委員)

種類が違うということですね。

(毛利教育長)

そうです。ですから当初 ICT で子供のタブレットについて何を採用するかということも当時色々と検討した結果、iPad が教材等も豊富で視覚的にも優れている、いわゆる操作性ですよね。その点が優れているということで iPad を入れようということでスタートしているはずですよ。

(吉川委員)

わかりました。

(岡嶋町長)

その他はよろしいでしょうか。

(教育委員一同「はい」の声)

(岡嶋町長)

そういたしましたら、次に「5. その他」事項というところで、こちらも何かございましたらお願いしたいんですけども、よろしいでしょうか。

(教育委員一同「はい」の声)

(岡嶋町長)

それでは以上をもちまして全ての議題に関しまして報告させていただきました。閉会とさせていただきます。以上をもちまして令和5年度第1回森町総合教育会議を終了いたします。お疲れ様でございました。